



毎年、「社会的養護とファミリーホーム編集委員会」を中心に監修している、書籍「社会的養護とファミリーホーム」に関して、次号、Vol.13 の内容に関して現時点での情報が届きましたので、紹介します。

また、7号～12号までの事務局にある在庫分、協議会会員の皆様限定となりますが、有効活用をしていただきたく、希望される会員さんに配布を考えておりますので、あわせて紹介いたします。

社会的養護とファミリーホーム Vol.13 構成案

□大 扉 徳田 絵美氏（わたしん家）

□目 次

□巻頭寄稿 若狭一廣 編集長

ファミリーホームの隘路 その理想と虚像

□特別企画

ファミリーホームの限界と可能性 Episode2

Vol.12 でとりあげたファミリーホームの限界と可能性について昨今の激変する子育て環境に対応しながら理想の子育てを実現する「ファミリーホーム」を安心して運営するための方法を現場の視点から深堀していく。



テーマ1

VOL.12 で各方面からいただいた様々な意見や取材内容を真摯に振り返り「ファミリーホーム」「里親」「家庭」とは何かを改めて問い直す。

1)各識者からの意見をもとにファミリーホームの限界と可能性を検証する

(1)堀場氏の意見

(2)黒田氏の意見

(3)加藤氏の意見

≪座談会≫ ファミリーホームの限界と可能性

～議論の整理と Vol.13 の座談会に向けて(仮題)

テーマ2 ≪子ども座談会≫

子どもたちからみたファミリーホーム ～子ども座談会における子どもたちの発言を振り返る～

- ・子ども座談会を継続企画としたい
- ・子ども座談会 第2弾を企画する
- ・振り返りもつける
- ・子どもの虐待、子ども意見表明について書いてもらう
- ・座談会の形にこだわらず、声として発してもらう場としたい
- ・どんな時に聞いてもらえたか
- ・座談会も意見表明権のひとつ
- ・編集委員会の座談会

テーマ3 次号に向けた新たなテーマ設定

里親・ファミリーホームでの虐待という課題

ファミリーホームの限界と可能性からの考察

□第 16 回全国研究大会 報告

基調講演 名古屋市立大学 谷口 由希子氏

座談会 ファミリーホームとはなにか 本誌編集委員会

行政説明 厚生労働省こども家庭局家庭福祉課長 河村のり子氏

シンポジウム ファミリーホームの限界と可能性

進行:松原 悟 ラフテル

報告:4 名

・宇津 孝子氏 うずまきファミリー ・二飯田 秀一氏 ファミリーホーム旬

・徳田 絵美氏 わたしん家 ・杉江 健二氏 陽氣道場

□現場の実践取材

◎東京都北区 子ども食堂 ピノッキオ

代表理事 川名はつ子編集委員

◎ 鹿児島県鹿児島市 取材予定

◎ 東京都板橋区 取材予定

□法律相談

民法の改正で懲戒権がなくなる？ これで現場はどう変わるか？

□情報の泉

虐待防止プログラム？

□お宅訪問

ファミリーホーム旬 二飯田 秀一氏

ファミリーホームふるかわ 古川 孝行氏

□ アンケート調査 調整中

□ 編集後記

書籍「社会的養護とファミリーホーム」7号～12号について

・7号 129冊 ・8号 65冊 ・9号 424冊 ・10号 359冊 ・11号 546冊 ・12号 94冊

の在庫が事務局にあります。

本を読んだことのない方々にも、是非ご覧になっていただき、ファミリーホームの事を知っていただきたいという想いを込めまして、本をお持ちでない方や、ファミリーホームの開設を考えている方、補助員さん、里親さん、学生さんにプレゼントする等々、**会員のみ本代は無料(送料の負担はお願いいたします)**といたしますので、本の有効活用、会員の皆様からも本の宣伝にご協力をお願いいたします！

申し込み方法

① ファミリーホーム名(2号会員・3号会員の方は氏名)

② 希望の号数

③ 希望冊数(何冊でも OK、在庫状況でご期待に添えない場合もございます) をメールでご連絡下さい

メール: jfh@japanfamilyhome.com

